

2020年8月10日 中東時事アップデート

アミール・ツアルファティ

- レバノンではヒズボラを捨てるのか? -

[YouTube:2020年8月10日中東時事アップデート](#)

シャローム、皆さん、アミール・ツアルファティです。イスラエル・ガリラヤより、ライブでお届けしています。世界中から、何千人もの人たちがご覧になっていて、とてもワクワクしています。

さて、30分ほど前に起きたばかりの、最新の出来事からお伝えしましょう。レバノンのハッサン・ディアブ首相は、レバノン政府の全閣僚の辞表を提出しました。もちろん、それはすべて一週間前に起こった、ベイルートで、港湾と都市の大部分を破壊した強力な爆発が原因です。すでに160人以上の遺体が収容され、負傷者は6000人以上、建物に非常に深刻な被害が出ており、30万人の人々がベイルートの自宅に戻れません。これは、間違いなくレバノンの内戦が終結してから最大の災害の一つです。私たちは、状況を調べていますが、レバノンの話に移る前に、レバノンに関して、面白い話をお伝えしたいと思います。

では、エーゲ海まで飛びましょう。皆さん、トルコが調査船を送り、そして、それがまさにギリシャの領海に入りました。その船をお見せしましょう。これは、オルーク・レイズという船です。これはトルコの船



これはトルコの船で、ある種、この地域でガスや石油を発見するためのものです。

で、ある種、この地域でガスや石油を発見するためのものです。スルタン・エルドアンは、地中海の領海で、誰が何を所有しているかがお構いなしで、彼はキプロスの主権を侵害して、ギリシャの主権を侵害しています。そして今、こうして話している間にも、皆さん、ギリシャの内閣、ギリシャの国家安全保障会議が、アテネで会議を開き、その対応を検討しています。理解してください。2、3週間前にも同じことが起きて、ギリシャ

は軍艦を送り込み、あちらでは、ほぼ戦争開始寸前でした。しかし、アンゲラ・メルケルがエルドアンに電話をかけたおかげで、彼は船を引き返し、戦争が回避されました。これはエスカレートして、地中海での海上戦争にまで発展するのでしょうか？ 私たちには分かりません。私たちが知っているのは、エルドアンには限界がないということだけです。この時点で見てください。トルコリは本当に過去最悪の水準にあり、トルコ経済は流血の惨事です。エルドアンは、戦争が経済に役立つかもしれないと考えているかもしれません。よく分かりませんが。私が知っているのは、一つだけです。エルドアンは、すべての問題において加害者であり、カタールは、これらすべての問題においての雷鳴です。

ところで、カタールは最近、犯行現場を取り押さえられ、彼らは、ヒズボラの活動のほとんどに資金を提供していたことが明らかになりました。言い換えれば、彼らがテロを助長しているのです。カタールの手は、イエメンでも、イラクでも、レバノンでも、シリアでも、その指紋が見られます。基本的に、カタールは、トルコに資金提供していて、スンニ派のテロ組織は、その全ての実行犯です。ですから今、地中海で事態はエスカレートしていて、そして、その



ギリシャとエジプトは、基本的に、このEEZ（経済的排他水域）エジプト・ギリシャEEZ協定を、結びました。

すべては…。ちょっとお見せしましょう。土曜日、トルコは非常に大きな問題を抱えることになりました。なぜなら、今週の土曜日に、エジプトとギリシャはこの条約に署名したのです。ご覧ください。ギリシャとエジプトは、基本的に、このEEZ（経済的排他水域）エジプト・ギリシャEEZ協定を結びました。もちろん、これは基本的に、両国の水域が合流する領土です。さて、これは、まさにトルコが侵攻してきた領土です。では、なぜトルコは、そんなことをしていると思いますか？なぜなら、トルコはギリシャとエジプトの間で合意されたことにコミットしていないからです。彼らは、リビア政府と彼らとの間で合意されたことにコミットしています。そして、2者の



中央で、それは重々として、今まさに、それが問題なのです。

間には独自の回廊地帯があるのがお分かりでしょう。そして、何が起こったかという、ご覧の通り、ギリシャからエジプトまでが一つで、トルコからリビアまでが、もう一つあって、中央で、それは重っていて、今まさに、それが問題なのです。そして、これはまさに、この状況と緊張感の源です。今後も、その様子をお伝えしていきますが、しかし、一つだけ言っても良いですか？ギリシャは第二次世界大戦が終結して以来、これほど戦争に近づいたことはありません。それくらい、今の状況は深刻なのです。

さて、レバノンの話題に戻しましょう。そして、私が今からお伝えすることは、伝えることを許可されているものだけです。残念ながら、爆発した倉庫にあった物に関連して、私は知っていてもお分かりできないものがあります。まず最初に、先ほど数分前にレバノンの首相が辞表を提出した際に、実際、次のように言いました。彼は、こう言いました。よく聞いてください。「レバノンの人々に起こった悲劇は、我々自身の国の、腐敗の直接的な結果だ。」見てください。「腐敗のメカニズムは、実際、国よりも大きい。これよりも、さらに大きな悲劇が起こる危険がある」聞いてください。国の首相が自国に警告しているのです。「先日起こったことよりも、もっと大きな事が起こる危険性がある。そして問題の根源は、他国からの攻撃ではなく、内部からの腐敗だ。」それからまた、彼は言いました。「レバノンでは、国内に国があるという問題を抱えている。」ヒズボラは、レバノンの一部を支配しています。ところで、私たちが見ているのは、シーア派兵士の多くからなる実際のレバノン軍隊が、ベイルートの被災者や災害のために、多くの外国からの援助を受け取っているのです。ベイルートの空港で、彼らは、すべての飛行機の積み荷を降ろして…。それで、どうすると思いますか？彼らは、それらを軍用トラックでレバノン南部に運んでいます。ベイルートの人々を支援するためではなく、レバノン南部の自分たちの村民を援助するためです。ですから、私が言いたいのは、今、レバノンには2つの主要な勢力があって、一ヒズボラと、それ以外の勢力です。彼らは今、大きな衝突に備えています。そしてヒズボラは今、レバノン南部の自分の国民を助けようとしています。先ほど話した通り、これは、国の中に国があるようなものですから。



6日前のベイルートでの出来事を1枚の絵にまとめるなら…。今からその絵をお見せします。レバノン人が描いた絵です。ご覧ください。今日のアップデートにテーマがあるとしたら、まさにこれです。繰り返しますが、これは風刺画です。これをご覧ください。皆さん。ほら。レバノン人は、ナスラッターと世界に伝えています。「お前のイスラエルへの執着が、我々に逆発したのだ！基本的に、イスラエルに上陸するためにお前が積み上げてきた武器や爆発物や

硝酸アンモニウムが、我々に向かって逆発したんだ！」ちなみに、これはイスラエル人の描いた絵ではなく、レバノン人が描いたのです。お分かりですか？これを、アラブ人が描たのです。皆さん、理解してください。

レバノン人は、自分達が考えている事をナスラッターに隠しません。もう一つ、彼らがしたことを、お見せします。繰り返しますが、これらは前例のないことです。レバノン人が、そんなことをしているのを見たことがありません。これ、これを見てください。彼らはスプレーしています。土曜日、ナスラッターが演説するたびに、まるでゴキブリにするように、彼らは殺虫剤をスプレーしているのです。わかりますか？これはシーア派のテロ組織ヒズボラのリーダーで、彼は自国民に向けて演説しているのです。それが、レバノンの人々は彼に責任を問うだけでなく、彼をゴキブリと見ているのです。ゴキブリのように追い払うべき人物として。ちなみに、これを見てください。これで終わりではありません。ほら、爆発の直後、彼らが何をしたかご覧ください。彼らはナスラッターの帽子を煙の柱の上に被せて、そして、彼らは言っているのです。「俺たちは、お前だと知っている。お前の仕業だ。お前はイスラエルのせいにしたいんだろうが、我々は、お前の仕業だと分かっている。」それでも足りなければ、ご覧ください。イランの狂犬が、基本的にはワンワンワン吠えています。ただの人面犬です。これは、イスラエル人



が描いたものではありません。これは全て、目を覚まし、勇気を得て、現実に目を向け、自分たちの問題は内側にあることを理解した、レバノン人です。これは我々の赤ん坊であって、よその赤ん坊ではない。これは私たちの問題で、他の誰かの問題ではない。そしてそれこそが、皆さん、土曜日、彼らが大きな抗議行動を始めた理由です。実際に、はっきりと見る事ができます。(動画を再生)さて、抗議活動の間に、これまでに見たことのないようなことが行われました。ご覧ください。レバノン大統領とハッサン・ナスララー両方の等身大の紙パネルが、実際に、ベイルートの大広場で、絞首台で処刑されているところです。近くでご覧になりたいなら、これはナスララーの紙のフィギュアです。ご覧ください。



レバノン人はもはや、この男を恐れていません。彼らは、もはや自分たちが何をされるか恐れなくなったのです。もはや黙して座し、完全に潰されることはありません。そして、彼らは一つのことを理解しています。「もうたくさんだ！私たちの問題を、すべてイスラエルのせいにするのはやめろ！我々の破滅のすべてを、イスラエルのせいにするのはやめろ！それはお前だ！お前がレバノンとのすべての戦争を始めて以来、実際に苦しんでいるのは、我々国民だ！」さて、ちなみに、これはレバノン人だけが感じていることではありません。アラブ世界のいたる所で、誰もが同じように感じています。そして今、この件で恥ずかしい思いをしている国はイランだけです。ヒズボラは、イランの代理ですから。イランは今、大いに苦しんでいます。イラクでは、イランは、もはや人気がありません。シリアでは、イランは人気がありません。実際、ロシアもトルコも、もちろんイスラエルも、常にシリアからイラン人を追い出そうとしています。そして今、レバノンでは、彼らがテヘランから、イラク-シリアを経由して、レバノン、地中海へと作ろうとしていた、シーア派の三日月が、崩壊しつつあります。そして、これは1つのリンクで、ほぼ最後のものです。皆さんに、理解していただきたいのですが、次に、イランが追い出されている時、誰がそこへ現れてその成果を手に入れようとしていると思いますか？その通り！トルコは、このような機会を決して見逃しません。リビア、スーダン、イラク、シリアのような不安定な場所があれば、どこでもトルコが踏み込んできて、そこで存在感を増します。



さて、多くの方が疑問に思っていることをお見せしましょう。多くの方が、私にメールで聞いています。「アミールさんは、エマニュエル・マクロンが反キリストだと信じていますか？彼は「エマニュエル」、『神は我々と共におられる』ですから。」いいえ、思いません。まず、この人が、反キリストだとは思わないのは、今まで見た中で、一番の敗北者だからです。彼の国では、誰も彼のことを気にしていません。自国では今、最弱小政治家です。そして、世界のほとんどの地域で笑いにされています。私が、彼はそうではないと信じる、もう一つの理由は、反キリストが表に出れるのは、唯一、引き止める者が取り去られ、信者の中の聖霊がいなくなった時、私たちが、ここから連れ出された時です。だから、私は、彼が反キリストであるとは思いません。しかし、彼は土曜日、救世主としてベイルートに登場しました。自国の首相、議長、政府、大統領を罵倒していた人たちが、みんな来て、彼に抱きつきました。人々は来て、マクロンを抱きしめ、彼らは来て、彼の肩にすがって泣きました。彼が登場したのです！





皆さんにお伝えしたいのはマクロンが現れた理由です。彼が現れた理由を、知りたいでしょう？良いでしょう。聞いたことない人がいるかも知れませんが、フランスがレバノンを創設しました。地球の歴史上、レバノンという独立した国は、1940年代半ばまで存在しませんでした。フランスの委任統治の結果です。それは、1920年代～1940年代にかけてのことで、これが国旗でした。お間違えのないように。これはフランス委任統治下のレバノンの国旗です。レバノ

ンの杉が真ん中に描かれたフランスの国旗です。多くのレバノン人は、こう識別されているのです。これですよ、皆さん。さて、何があったのでしょうか？誰が、シリアとレバノンに対するフランスの権限を与えたのでしょうか？非常に簡単です。第一次世界大戦の終わりに、フランスとイギリスはオスマン帝国の遺跡を自分たちの間で分割しました。最初はロシアもその一部でしたが、共産主義革命でロシアは追い出され、そうすれば、あとはサイクスとピコだけです。フランス人ピコと、サイクス氏、各国の外相が協定を結んでレヴァント、中東を自分たちの間で分割したのです。当時のパレスチナ、つまり現在のイスラエルとヨルダン、エジプトやイラクとともに、すべてイギリスの委任統治下にありました。そして、シリアとレバノンは、実はフランスの委任統治下にあったのです。問題はフランス人がそこにいなかった事です。ですから、1920年4月末のサンレモ条約に続いて、それ以前の協定の多くが、実際に承認され、フランスの将軍たちはレバノンやシリアにまで進出しました。そして7月23日、フランスの将軍たちは基本的にダマスカスに入りました。そして皆さん、これを聞いてください。フランスの将軍たちが、はるばるやって来て、私の記憶違いでなければ、アンリ・（ジョゼフ・ウジェーヌ・）ゲーロー将軍でした。はい。彼は、はるばるシリアのダマスカスにやってきて、1187年に十字軍を倒したサラディンの古墳に向かいました。そして、フランスのゲーロー将軍はサラディンの墓を蹴って、言いました。「サラディン、戻ってきたぞ！」「サラディン、戻って来たぞ！」の意味がわかりますか？つまり、「お前は800年前、我々をここから追い出した。我々は戻って来たんだ。ここにいるぞ。今や、お前が十字軍から解放したものを我々が統治する。」なぜなら十字軍、当時のカトリック騎士団は全てフランス人やドイツ人、イギリス人でしたから。それがここで、将軍がイスラムの歴史とイスラム世界の英雄の墓を蹴って、そして彼は彼らに言っているのです。「サラディン、我々はこちらにいるぞ。戻って来たのだ！」そして、その瞬間から、アラブの誇りは文字通り傷つきました。それから、シリアとレバノンで民族主義者の運動が起こり、フランスの存在とフランスの影響力と戦い始めました。ところで、フランス人はベイルートを建て、「中東のパリ」に変えました。当時のベイルートは、栄華を誇っていました。そして最終的に1940年代にレバノンはフランスから独立を果たし、それまでです。歴史上初めてのことでした。



さて、間違っははいけません。フランスが委任を受けたとき、委任は5つのゾーンに渡っていました。これを見てください。そこには、レバノンやシリアのような国家はありませんでした。ご覧ください。ダマスカス国、アレッポ国、アラウィー派国、それから北はラタキア、大レバノン国、ジャバル・アル・ドルーズ（ドルーズ人の地域）です。これは、1922年に国際連盟が承認したシリアとレバノンへの委任です。皆さん、基本的にフランスがしたことは、レバノンの一部を切り

り取って、独立国家を作り、残りは全て、こんにちのシリアにしたのです。こんにちのシリアは、レバノンの東から北に向かって、文字通り北からレバノンを取り囲んでいることがよくわかります。皆さん、理解してください。フランスは、その地域に長い間、大きな影響力を持っていたのです。そして、アラブがフランスと戦い、最終的に彼らに対して大反乱を起こしたとき、フランスはダマスカスを砲撃し、何千人ものアラブ人を殺害しました。そのため、多くのアラブ人の心の中には、フランスに対する敵意が、さらに大きくなりました。なぜ、このような話をしているかというと爆発事件の数日後の金曜日に、レバノンの人々がこの旗に戻したのです。そして10万人以上が署名した請願書は、フランスの委任統治を、もう10年復活させようというものでした。

これが、なぜそんなに大打撃なのでしょう？アラブ人は、フランス人と戦いました。アラブ人は、民族主義になり、イスラムも大きく誇ったのです。「我々はフランス人だけでなく、キリスト教を倒し、西欧諸国を倒し、今は自分たちのものを手に入れた」それが、アラブ人が、フランス人に戻ってくるように頼み、フランス人、西洋人、キリスト教徒が、再び彼らを支配することを好むというのは、ヒズボラのようなスンニ派、シーア派のようなアラブ的思想の者にとっては大敗北で、フランスのカトリック教会に反対している、正統派のキリスト教徒にとっても、そうです。皆さん、人々が、基本的に「フランスよ、戻ってきて欲しい」と言う事は、「私たちが100年間、間違っていた」ということを意味します。「すべてが無駄だった」と。「我々の革命はすべて無駄だった。私たちが流した血はすべて無駄だった。」ご理解いただけると良いのですが。



さて、もう一つ、ここで起こっていることを見ていただきたいと思います。2年前、ベンジャミン・ネタニヤフ首相が国連総会で演説しました。2018年9月のことで、イスラエルが基本的にテヘランの中心部から、核のアーカイブの全てを英雄的な作戦で奪った直後でした。イスラエルは、レバノンが自国の民間人の間に巨大な武器の倉庫を抱えていることを発見し、全世界に公表したのです。実際、私たちだけがそう言っていたわけではありません。他の人が言っていたのをお見せします。多くの人がそう言っていました。これはワシントン研究所です。そして、彼らが2018年の10月に言っていたことを、見てみましょう。「ヒズボラの都市型ミサイル工場群は(複数形)民間人を危険に晒す」間違っ**て**はいけません。これが、辞任したハッサン・ディアブ首相が話していた腐敗です。そして、これは爆発前です。

見ての通り、赤で囲んでいるのは、残った彼らの貯蔵庫の一部です。しかし、青い四角で囲っている部分を見てください。それが爆発したものです。そして、とても興味深いものを見ていただきたいと思います。私が間違っていなければ…、見てください。これをご覧ください。良いですか？このレポーターの話を、よく聞いてほしいと思います。私が間違っていなければ、スカイニュースです。(動画を再生)



[レポーター] 彼らは、ここに地下室の迷宮があることを知っています。彼らは、その内の一つの開口部を発見しました。そして少し近づいてみると、天井のように見えるものの上部が見えます。親族や愛する者がその防空壕に辿り着き、生きているという希望を繋いでいたのです。



[アミール] 「地下室」だと、彼女はそう呼んでいましたね。本当は何か言っているんですか？これらは、トンネルです。ヒズボラの、工場の間を繋いでいるトンネルです。これらは地下室ではありません。上部を見て、すべてのセメントを見れば、これらはトンネルです。ヒズボラは地上で活動していたのと同じくらい、彼らは、地上では通常業務が行われているように見せたかったのです。船が来て、荷物を積み降ろしても誰も疑わないように。しかし現実、彼らがやっていたことの多くは、場所と場所の間、工場と工場の間で物を動かしていたのです。ところで、硝酸アンモニウムですが、我々が信じているのは…。ほら、275トンの



硝酸アンモニウムで、ベイルートが完全に破壊し得たのです。我々が信じているのは、爆発したのは約60トンで、それ以上ではありません。では、残りはどこにあるのでしょうか？残りは、基本的にヒズボラが使っていました。ヒズボラが他の場所に密輸していたのです。どうかしてロケットに硝酸アンモニウムを加えるために。ロケットの精密なシステムは彼らが取り組んでいたことの一つで、しかも一つ、彼らは、爆発を拡張し、核爆発とほぼ同等にするために、このようなものをロケットに詰め込んでいたのです。そのために、この特別な、文字通りの深さ14メートルのクレーターができたのです。なぜか？ それは、多くが地中からの爆発だったからです。だから、このような壊滅的なものを目にしていくのです。このためにハッサン・ナスララーが演説をした時、見てください。彼が言っている事はあえて訳しませんが、彼の演説を見ていた地元の人たちが何をしていたか、ご覧ください。(動画を再生)はい。まあ、彼女が何を言ったかは言いませんが、靴を投げつけていました。アラブの考え方では、これほど屈辱的なものはありません。ブッシュ大統領がイラクにいた時、誰かが彼に靴を投げつけたのを覚えていますか？これは侮辱の印です。これは軽蔑や侮辱の印です。皆さんが見たのは、まさに、その表現です。そして、その全ては何のためでしょう？それはイスラエルではなく、ヒズボラだということを誰もが理解しているからです。ご覧ください。彼らは動画を作ったのです。ロケットや飛行機の動画を私に送って来た人たちもいましたが、「ヒズボラの電子旅団」と呼ばれる部隊があって、この部隊は、実際、今年の1月に米軍に殺害されたカセム・ソレイマニ将軍が編成したものです。そしてこの部隊は、シーア派の抵抗勢力を電子的な手段で押し進めることになっていました。そのうちの1つが、ソーシャルネットワークに偽アカウントを氾濫させて、常に間違っただけや反対の情報を垂れ流し、また、人々の心に疑念を植え付けるような陰謀の動画を、いくつか作成しています。そして、イスラエルやアメリカがロケットや飛行機を発射したのではないかと皆が考えていますが、いいえ、違います。これが文字通り、ヒズボラの「労働災害」で、それによって明らかになったのです。皆さん、私たちは、この特定の倉庫には大量の爆薬が保管されていた事実を暴露しました。私たちは、ロケットやミサイルがあった事実を暴露しました。ちなみに、イタリアのチームは、我々が見た映像を調査し、一つの結論に達しました。この特定のものには、硝酸アンモニウム以上のものがある。そして、それを理解する必要があります。それ以上のものです。実際に彼らが言ったのは…名前は、爆破・解体の専門家、ダニーロ・コッペ氏です。彼は、リチウム金属があると言いました。彼は文字通り、爆発の白い煙の後に出来た煙の色を見て、言ったのです。「これはリチウム金属で、これはロケットの一部、これはロケット燃料です。」ですから、ただの硝酸アンモニウムよりもすごいものです。という事で、ヒズボラは、基本的にマズいところを見られたのです。

皆さん、理解してください。ナスララーは、今回の演説ほど混乱して無力だったことはありません。そして、彼がイスラエルを非難していないのは、今回が初めてです。どうしてか分かりますか？なぜなら、誰もが真実を知っているからです。そして、彼はそのゴミを、再びイスラエルに敵対して持ち込むことはできなかったのです。これで皆さんが理解された事を願います。レバノンには現在、あまり選択肢がありません。皆さん、理解してください。彼らは、いろいろと試してきたのです。彼らは全て試しました。今や、暴徒達がそこにいて、とにかく役所に火をつけています。役所に火がついている写真があったと思うのですが、無いようですね。ただ知っておいていただきたいのは、そこは大混乱で、無政府状態です。ナスララーの化けの皮が剥がれ、イランは、ここで失敗し、今やトルコが入って来てました。そこで、問題は誰が次の一手を打つか？レバノン軍は、いわゆる軍事クーデターを起こすのか？新たな選挙はあるのでしょうか？ヒズボラはレバノンに残るのか？それとも、ヒズボラは投票で落とされるのか。もっと言えば、国全体から追い出されるのか？世界は、ヒズボラと、この組織の追放を要求し、レバノンに援助が流れるようにするのか？ほら、私が言えることは、これだけです。レバノンの様々なグループ、民族が軍を受け入れないことを、私たちは知っています。そのため、レバノンが再び内戦状態に陥ることが懸念されています。ほら、シリアで起きている事をご覧ください。内戦、無政府状態です。そして、こういうことが起きた時に誰が前進しているのでしょうか？トルコ、ロシア、そして、もちろんイランも同様に試みています。トルコやロシアがイスラエルに侵攻するためには、シリアからしか来ないと思っていたとすれば、シリアだけでなくレバノン側から来る可能性も非常に高いです。もしベイルートが、この混乱の口実に過ぎないとしたら、トルコやロシア、

皆さん、理解してください。ナスララーは、今回の演説ほど混乱して無力だったことはありません。そして、彼がイスラエルを非難していないのは、今回が初めてです。どうしてか分かりますか？なぜなら、誰もが真実を知っているからです。そして、彼はそのゴミを、再びイスラエルに敵対して持ち込むことはできなかったのです。これで皆さんが理解された事を願います。レバノンには現在、あまり選択肢がありません。皆さん、理解してください。彼らは、いろいろと試してきたのです。彼らは全て試しました。今や、暴徒達がそこにいて、とにかく役所に火をつけています。役所に火がついている写真があったと思うのですが、無いようですね。ただ知っておいていただきたいのは、そこは大混乱で、無政府状態です。ナスララーの化けの皮が剥がれ、イランは、ここで失敗し、今やトルコが入って来てました。そこで、問題は誰が次の一手を打つか？レバノン軍は、いわゆる軍事クーデターを起こすのか？新たな選挙はあるのでしょうか？ヒズボラはレバノンに残るのか？それとも、ヒズボラは投票で落とされるのか。もっと言えば、国全体から追い出されるのか？世界は、ヒズボラと、この組織の追放を要求し、レバノンに援助が流れるようにするのか？ほら、私が言えることは、これだけです。レバノンの様々なグループ、民族が軍を受け入れないことを、私たちは知っています。そのため、レバノンが再び内戦状態に陥ることが懸念されています。ほら、シリアで起きている事をご覧ください。内戦、無政府状態です。そして、こういうことが起きた時に誰が前進しているのでしょうか？トルコ、ロシア、そして、もちろんイランも同様に試みています。トルコやロシアがイスラエルに侵攻するためには、シリアからしか来ないと思っていたとすれば、シリアだけでなくレバノン側から来る可能性も非常に高いです。もしベイルートが、この混乱の口実に過ぎないとしたら、トルコやロシア、

イランなどの大国のイザヤ書17章に対する反応を想像出来ますか？ダマスカスの破壊。ほら、バイルートは半分機能していますが、ダマスカスは都市でなくなります。イザヤ書17章によると、そこは廃墟になるのです。ですから皆さん、いわゆる「エゼキエル38章のオプション」に向かって、最終的な追い込みに入ったと思います。この先の展開が気になります。いいですか、これが中東です。これは、預言に関して聖書が語る場所です。しかし聖書は他にも終わりの時のしるしに関して、世界中で起こることを語っています。もちろん火山も地震もあります。昨日は、イランで地震が2回ありました。今朝、インドネシアで巨大な火山噴火がありました。事実、数時間前にツイッターとフェイスブックで私はそれを報告しました。多くの事が起きています。

でも、締めくくりに、昨日、私の心が痛んだある出来事をお伝えしたいと思います。実際、私は動けませんでした。昨日…私のことを知っている人は、私が1日に2、3、4回ツイッターしていることをご存じでしょう。昨日は、たぶん20個くらいツイートしました。私はとても腹が立ち、失望していました。私はあるビデオクリップを見て、涙が出そうになるほど動揺しました。著名で保守的な、「クリスチャン」であるはずの若者です。彼はトランプ大統領の支持者であり、警察を支持し、とても多くの事を支持しています。それが、彼に何があったのかは分かりませんが、彼は、あらゆる事、あらゆる人に疑問を持ち始めて、そして彼は、イスラエルに関するあらゆる側面に疑問を投げ始めたのです。彼は、「シオニズムは、世界征服のためのユダヤ人の陰謀だ」という、このゴミを丸ごと信じ、「イスラエルは、実は正当な場所ではなく、イスラエルにいるユダヤ人は、本当のユダヤ人ではない。ヒトラーはロスチャイルドだった。だからヒトラーは、世界征服のためにユダヤ人のアジェンダを推進したのだ。」とか、あまりにも…その上、彼には何十万人ものフォロワーがいます。こんなに多くの人が、こんなゴミを聞いているなんて、私には信じられませんでした。私はホロコースト生存者の孫ですから。それが、アメリカの甘ったれた子供が、何十万人もの人にホロコーストの話をして、言っている事が信じられませんでした。「ああ、ヒトラーがロスチャイルドだったから、全てはユダヤ人の革新のためだったんだ。」彼は歴史を勉強したことがないのでしょうか。ただ、皆さん、理解して欲しいのです。これには…。私は、とても動揺しました。なぜなら、彼が言った他の言葉は全てイエスだったのです。彼が言う言葉の一つ一つが、「聖書」「イエス」「聖書」「イエス」そして、私は思っていました。「君は一体、どんな聖書を読んでいるんだ？」なぜなら、私の聖書にはこう書かれています。

「神の賜物と召命とは変わることがありません」（ローマ11:29）

私の聖書には、エゼキエル書37章で、神が、ユダヤ人を、ご自分の土地に連れ戻されたのだと書いてあります。私の聖書には、神が最終的にイスラエルを救うと書いてあります。彼らが、「自分たちが突き刺した方を仰ぎ見る」時に。（ゼカリヤ書12:10参照）私の聖書は、告げています。

「神は、あらかじめ知っておられたご自分の民を退けてしまわれたのではありません。」（ローマ11:2）

私の聖書は、告げています。イスラエルは、星と月と太陽がある限り、今でも、神の御前に国家である。（エレミヤ書31:35～36参照）そして、私は気がついたのです。ああ…2つのことがはっきりと見える。2つのことが。①いくら、自らをクリスチャンと名乗って、どれだけ「イエス」を掲げて教会に行ったり、何かをしてもイスラエルを憎んでいる人は、絶対に携挙されないし、仮に、その人が、まだクリスチャンでないために取り残されたとして、イエスの黙示を受けながらも、まだ大患難時代を通して、イスラエルを憎んでいるなら、その人は千年王国には入れません。はっきり言っておきます。「主よ、主よ」と言う人の全てを、イエスが、ご存知だったのではありません。（マタイ7:21参照）あなたは理解しなければなりません。

A)…ちなみに、私がこれらのことを書いたとき、信じられなかったのは、クリスチャンを名乗る多くの人々が、私に言うのです。「そうだ、ユダヤ人がイエスを殺したんだ！ユダヤ人がイエスを殺した！そうだ！そうだ！」そして、私は思っていました。「聖書を読んだことがあるのか？」ユダヤ人がイエスを殺した節を教えてください。私の聖書にありませんから。私の聖書によると、そうです、彼らは、イエスが十字架につけられることを望みました。彼らは、イエスのことを「神を冒瀆している」と非難しました。しかし、本

当にイエスを殺したのは誰でしょうか？主を拷問したのは誰ですか？主の頭の上に、いばらの冠を被せた人は誰ですか？上着を着せたのは誰ですか？主を突き刺して、確実に死に至らしめたのは誰ですか？主を十字架につけたのは誰ですか？間違いなくユダヤ人ではなく、ローマ人です。さて、私は、誰に責任があって、誰に責任がないと言ってるわけではありません。しかし、ユダヤ人がイエスを殺したとは言えません。ちなみに、ローマ人は「ノー」と言えたのはご存じでしょうか？でも、もう一つ知っておいて欲しいのは…これも、私が全く理解できないことです。イエスが、ヨハネ10章で何と言われたかご存じですか？イエスは、ヨハネ10章で、次のように言われています。17節で「わたしが自分のいのちを再び得るために自分のいのちを捨てるからこそ、父はわたしを愛してください。だれも、わたしからいのちを取った者はいません。わたしが、自分からいのちを捨てるのです。わたしには、それを捨てる権威があり、それをもう一度得る権威があります。…」(18節)イエスが、そうおっしゃったのです。イエスは、あなたと私のために死ぬことを、選ばれたのです。「主は、ある集団に偶然殺されたのだ。だから、自分には彼らを憎む権利がある。」とあなたが思っているなら、あなたが言っているのは、基本的に「ああ、我々はとても完璧で、彼らは主を殺したのだ。」いいえ。事実、皆さんにお伝えしたい章があります。ちなみに、これは私が主に導かれた章です。良いですね？もちろんイザヤ53章です。見てください。聖書は、イザヤ書53章で次のように述べています。

「まことに、彼は私たちの病を負い、私たちの痛みをになった。だが、私たちは思った。彼は罰せられ、神に打たれ、苦しめられたのだ。」(4節)

「しかし、彼は、私たちのそむきの罪のために刺し通され、私たちの咎のために砕かれた。彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、彼の打ち傷によって、私たちは癒された。」(5節)

「私たちはみな、羊のようにさまよい、おのおの、自分かってな道に向かって行った。しかし、主は、私たちのすべての咎を彼に負わせた。」(6節)

あなたと私のために、主が死を選ばれたことを理解していないならば、あなたは福音の全体を見逃しています。そして、あなたは愛が何であるかを理解していません。ご自分のいのちを捨てた、主のような完璧な愛はどこにもありません。しかし、イエスは神だからこそ、それを取り戻すことができたのです。私は本当に悲しくなりました。それで思っていたのですが…、ほら、私はマタイ24章を教え終えたばかりで、すでに、たくさんの方が見てくださって、30万人、40万人近くです。これからマタイ25章を教えます。マタイ24章のオリブ山の説教を教えました、続けて、マタイ25章が2つの驚くべきことを語っています。1つは、10人の乙女たちに関する事、そしてもう1つは、羊や山羊に関する事です。そこで、羊と山羊の話に戻しましょう。良いですね？乙女たちは携拳に関する事で、行かない人たちがいます。しかし彼女らは、同じだと主張しています。そう、彼女らは、すべてを持っていると主張しています。でも、羊と山羊を見てみましょう。羊と山羊ですよ、皆さん。大患難の終わりには裁きがあります。イエスが来られ、ヨエル書3章によると、すべての国々はヨシャパテの谷に集められます。(2節参照)マタイ25章によると、王が来られて、すべての国が王の御前に来ます。(32節参照)そして、良いですか？主の兄弟たちのうちで、最も小さな者たちを助けた者だけが永遠のいのちを得て、千年王国に入ることが許されました。さて、これは信じることは何の関係もありません。基準は、「あなたは、私の兄弟たちを助けたか？」兄弟とは誰ですか？なぜなら、羊が、いわゆる信者だとするならば、兄弟とは誰でしょうか？兄弟とは誰ですか。

ヨエル書を見てみましょう。神は、彼らがユダヤ人とイスラエルの地にしたことによって、世界を裁かれます。ヨエル書3章1～2節。兄弟とはイエスの兄弟、ユダヤ人でなければ誰ですか？そして、もしあなたが大患難の終わりになっても、何らかの理由で、あなたが信者でなかったために、あなたはここに残されて、それが、なぜか自分は千年王国に入っているのなら、もし、あなたが大患難を通してイスラエルに敵対したなら、あなたは千年王国に入ることには許されません。これは強烈な事です。だから私は、「クリスチャン」を自称する人たちに自信を持って言えます。もし、あなたがイスラエルを憎んでいるなら、あなたは、携拳されません。また、なぜか、あなたがここに残されて、そして千年王国に入れると思っているなら、あ

あなたは千年王国には入れません。私が今言っているのは重大なことです。しかし、皆さん、理解してください。すべての人が携拳されるわけではありません。誰もが千年王国に入れるわけではありません。イスラエルへの接し方、イスラエルに対するあなたの態度が、あなたの結末に大きく影響すると私は強く信じています。良いですか、聖霊を持ち、聖書を読んで、聖霊の実を持っている人、新生した人は誰一人として、イスラエルを憎むことはできません。もしあなたがイスラエルを憎んでいるなら、あなたは新生していません。あなたは聖霊を持っておらず、あなたは偽物です。自分ではクリスチャンと名乗っていても、そうではありません。イエスは、あなたを認識すらしないでしょう。最後に、パウロ自身が、実際にローマにいた時の、使徒の働きのみことばを紹介したいと思います。信じられないかもしれませんが、彼はローマで処刑を待っていました。非常に興味深いものをお見せしましょう。パウロに関して、私の目が本当に開かれたものです。使徒の働き28章です。これを見てください。お読みしましょう。16節… 英語では17節です。

「三日の後、パウロはユダヤのおもだった人たちを呼び集め、彼らが集まったときに、こう言った。『兄弟たち。私は、私の国民に対しても、…』パウロは「私の国民」と言っていて、「私は、あなた方の仲間ではない」とは言っていない。『…先祖の慣習に対しても何一つそむくことはしていないのに、エルサレムで囚人としてローマ人の手に渡されました。ローマ人は、私を取り調べましたが、私を死刑にする理由が何もなかったの、私を釈放しようと思ったのです。…』 (17節b~18節)

『ところが、ユダヤ人たちが反対したため、私はやむなくカイザルに上訴しました。』さて、パウロがユダヤ人に何を言っているかをご覧ください。『それは、私の同胞を訴えようとしたものではありません。このようなわけで、私は、あなたがたに会ってお話しようと思ひ、お招きしました。私は、イスラエルの望みのためにこの鎖につながれているのです。』 (19-20節)

パウロが、基本的に言っているのは、「私は、自国を非難するつもりは全くない。私は理解しています。私も彼らと同じように盲目でした。私もその一人でした。これは霊的な盲目です。それが、どんな感じなのか分かっています。私も同じ立場でした。私には非難できません。」実際、私には非難できないだけでなく、十字架上で、イエスは言われました。

「父よ。彼らをお赦してください。彼らは、何をしているのか、自分でわからないのです。」 (ルカ23:34)

そして同時に、イエスが死ななければならなかったことを、忘れてはなりません。イエスは、父なる神の完全な御心を成就するために来られたのです。(イザヤ書53:10参照)そして、その全体像を理解したいならば、ローマ人への手紙11章を読んでください。「…彼らの違反によって、救いが異邦人に及んだのです。それは、イスラエルに、ねたみを起こさせるためです。」 (11節参照) 彼らの不従順によって、異邦人は、救われることができました。そして、最後には彼らも救われるのです。(26節参照)それが、パウロがローマ書11章で言っている事で、使徒28章、彼がローマで出会った同じ人々に対して言っているのです。彼は言いました。「ほら、あなたがたには奇妙に聞こえるかもしれませんが、ユダヤ人が、異邦人に妬みを引き起されるためには、彼らは失敗し、拒絶しなければならなかったのです！」ですから、皆さんにお願いします。置換神学を信じて、イスラエルのユダヤ人は本当のユダヤ人ではないと考えているクリスチャンを知っているなら、ほら、ヒトラーは私たちが本当のユダヤ人だと考えていました。だから私たちが皆殺しにしたのです！だからイスラエルは...、言っておきますが、ただ自然に人がやって来たものではありません。ほら！それは、奇跡だったのです！マーク・トウェインは1820年代、1830年代にここにいて、ここでは何も育たないと言ったのです！奇跡です！イスラエルは奇跡です！そんなことができたのは神の御手だけです！死んだ土地をよみがえらせ、神の民を故郷に帰し、死んだ言語をよみがえらせ、こんにちの世界で8番目の強国の地位に引き上げたのです。これほど奇跡的なものはありません！これは神のものではないと見ることは、神の御顔に唾を吐くことであり、イエスに「あなたでは十分ではない」と言っているのです。ですから、皆さんに言いたいのです。その人たちに、話してください。何故なら、彼らは携拳されません。そして、誰でも、このようなゴミを教える者は千年王国に入れませんが、私は、これを吐き出す必要がありました。なぜなら、これが教会に侵入していますから。それは教会の背教の一部であり、真理からの逸脱です。真理とは、

神はイスラエルのことを決して忘れておられない。真理は、太陽と月と星がある限り、イスラエルは神の御前に国家として立つ。(エレミヤ31章参照)そして、唯一、神がすべてを新しくされる時、新天新地、新しいエルサレムの時代だけ、もはやユダヤ人も異邦人もなくなります。そこには信者だけです。それだけです。他はもういません。しかし、その時まで、イスラエルは神の御前に国家として立っています。聖書を読んで、神のみことばを勉強すれば、それが理解できるようになります。

お父様、あなたのみことばをありがとうございます。父なる神様、感謝します。私に送られてくる、あらゆるゴミや、私が聞いたり読んだりする、すべての恐ろしいものの中でも、あなたのみことばに慰めを見いだすことが出来ます。そして、御霊の働きの中に安堵を見いだすことができます。お父様、あなたのみことばが真実であることを感謝します。お父様、感謝します。イスラエルの国のために素晴らしいご計画があることを。はい、多くの苦しみと痛みがあるでしょう。はい、ゼカリヤ13章にあるようにイスラエルの3分の2は滅びます。しかし、はい、最後には、すべてのイスラエルが救われるのです。エゼキエル36章と37章にあるように、イスラエルの地とイスラエルの国は、あなたの実です。そこから38章に繋がり、他にはありません。お父様、私はあなたのみことばに感謝します。あなたの約束に感謝し、あなたの賜物と召命が変わらないことを感謝します。

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。

主が御顔をあなたに照らし、あなたを守られますように。

主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。(民数記6:24~26 ヘブライ語)

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。

主が御顔をあなたに照らし、あなたを守られますように。

主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。(民数記6:24~26 英語)

主の平和、私がとても必要としているシャロームは、平和の主である平和の君から、私とあなた方全員に、主の平和を今も永遠までも、いつでもどこでも与えることができます。主の御名はイエシュア。主は私たちの救いです。イスラエルの救世主、約束された救世主、全世界の王。エルサレムから支配される方。最後にイスラエルを救われる方、ユダ族の獅子、お父様、イエスの御名によって感謝します。
アーメン。

私の本「The Last Hour」と「The Day Approaching」をまだご購入されておられないなら、我々のウェブサイトでも、アマゾンでもどこでもお買い求めいただけますので、お忘れなく。また、ソーシャルメディアが、あらゆる方法で私を締め出そうとしていますので、覚えておいてください。だから、私たちのウェブサイトBeholdIsrael.orgから、ニュースレターをご登録ください。もちろん、ツイッター、フェイスブック、インスタグラム、そしてYouTubeで私たちをフォローしてください。BeholdIsraelです。

ありがとうございました。

God bless you!

ガリラヤより、シャローム。



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2020.08.21 (Fri)